

地域振興推進費事業計画・自己評価書（実績）

提出区分		実績	整理番号	12	課題区分	A
横断的な課題		その他				
地域重点政策		ポストコロナ時代に選ばれる「誰もが自分らしく健康に暮らせる長野地域」をつくる				
実施機関		長野地域振興局		担当課	所属	商工観光課
事業名		伝統的工芸品振興事業			電話	026-234-9528
					E-mail	nagachi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	「長野県の美しい伝統的工芸品を未来につなぐ条例」の基本理念に基づき、長野地域の伝統的工芸品の価値や魅力の周知を図る。				
	現状と課題	伝統的工芸品は、生活様式の変化や大量生産品の普及による需要減少、職人及び後継者不足といった課題を抱える状況下にある。製造や販売を担う事業所の大半を小規模事業所が占めており、継続して厳しい経営状況に置かれており事業継続が困難であるといった声が多く聞かれている。昨年度は産業フェアへ長野地域の伝統的工芸品を展示出展し、来場した多くの方の目に触れる機会を作ることによってPRを実施した。また出展ブース内で同時開催した松代焼陶芸体験は、親子連れを中心に人気を博したが、手狭なブースでの開催であり参加可能人数が限られたため、参加希望者の多くを断ることになり機会損失となった。 (課題) 伝統的工芸品制作事業者は、長野地域を訪れる観光客や地元民に伝統的工芸品を広く知ってもらうことによる需要喚起を必要としている。				
	内容 (変更後の内容)	・「産業フェアin信州2025」への出展 内容:「産業フェアin信州2025」へ出展し、長野地域の伝統的工芸品の展示を通じて価値や魅力をPR。 日時:令和7年10月24日(金)10:00～17:00、10月25日(土)9:30～16:00 場所:長野市ビッグハット(長野市若里3-22-2) 出展品:信州打刃物、戸隠竹細工、松代焼、信州手描友禅 ・「産業フェアin信州2025」における「松代焼体験教室」の開催 内容:主に親子連れをターゲットとした作陶体験会を開催し、伝統的工芸品に触れる機会を創出する。 日時:令和7年10月25日(土)10:00～11:30、13:30～15:00 参加者数:15組(30名) ・長野合庁1階県民ロビーにおける伝統的工芸品の展示 内容:上記「産業フェアin信州2025」の会期後、1階県民ロビーに展示コーナーを開設。 期間:令和7年11月～令和8年2月(ロビーにはパスポート申請者等が多く来訪、年明けは春休みに向け申請者が増加。)				
	事業期間	令和7年8月 ～ 令和8年3月				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	「産業フェアin信州2025」出展	フェアに長野地域の伝統的工芸品を出展し、魅力をPR	70,000	使用料及び賃借料 70,000円 (展示小間料 50,000円、備品賃借料 20,000円)		
	「産業フェアin信州2025」における「松代焼体験教室(仮)」の開催	松代焼の職人を講師に作陶体験教室を通じ、主に親子連れをターゲットとした一般の方に伝統的工芸品をより身近に感じてもらう	91,144	需用費 59,807円 (粘土代880円×2名×15組、消耗品・梱包資材費 33,407円) 役務費 31,337円 (焼成代770円×2名×15組、通信運搬費8,237円)		
	伝統工芸品ロビー展示	長野合庁1階県民ロビーにおける伝統的工芸品展示	7,480	需用費 7,480円 (展示備品・消耗品)		
合 計		168,624				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	「産業フェアin信州2025」でのPR対象人数		120人	300	● 達成	
	松代焼体験教室参加者数		15組(30人)	15組(30人)	○ 一部達成	
					○ 未達成	
事業実績・成果	・「産業フェアin信州2025」への出展 展示ブースへの出展を通じて長野地域の伝統的工芸品(信州打刃物、戸隠竹細工、松代焼、信州手描友禅)の価値や魅力を来場者に対しPRすることができた。手描友禅の着物を中心に配置するなど、目立つことを意識し展示を工夫した。一方、PRの効果を高めるためにブースで足を止めるような仕掛け(例えば伝統的工芸品を活かしたノベルティグッズの配布など)が必要であるという課題が見えた。 ・「産業フェアin信州2025」における「松代焼体験教室」の開催 親子連れをターゲットとした作陶体験会をフェアのイベントとして開催し、小さな頃から伝統的工芸品に触れる機会を創出した。参加した親子からは喜びの声も聞こえ、楽しい経験を通じPRを行うことができた。 ・長野合庁1階県民ロビーにおける伝統的工芸品の展示 伝統的工芸品専用の棚を設け展示コーナーを開設した。併せて配架している伝統的工芸品の紹介チラシを持ち帰る方もいることから、PRに加え、一定期間展示を継続することの意義を見出している。					
	今後の方向性	伝統的工芸品の価値及び魅力を継続的に発信するため、今年度事業の結果を踏まえた展示や体験教室の取組を引き続き推進する。				